

図書館通信 10月号 宇東図書館委員会

9月26日(木)、宇東図書館で第一回読書会としてビブリオバトルが行われました。図書委員を中心にたくさんの生徒が参加し、有意義な時間を過ごしました。今月は、1年5組・6組の図書委員、船田さんと伊藤さんが選んだ本と、読書会に参加した生徒の感想を紹介します。

1年5組 船田 舞夏さんが紹介



『不死病』 周木 律 著

ある山奥の製薬研究所・平成製薬で起きた爆発事故。主人公の泉夏樹は一命をとりとめたが、すべての記憶を失ってしまった。生き残っていた人々とともに脱出を試みるも、彼女らの前に現れたのは人ならざる人——食人鬼と化したかつての同僚たちだった。

この研究所は、一体何を隠していたのか——。

ミステリーをあまり読まない私も、最後まで楽しく読むことができました。常識を揺るがす究極のバイオホラー×ミステリーを皆さんもぜひ楽しんでみてください。



1年6組 伊藤 麻椰さんが紹介



『ハラスメントゲーム』 井上 由美子 著

主人公の秋津渉はマルオスーパー富山中央店の店長を務めていた。ある日、東京の本社に呼び出され、コンプライアンス室室長として本社での勤務を命じられた。セクハラやパワハラなど、一筋縄ではいかない問題に、唯一の部下・高村真琴と立ち向かう。そんな中、社長と常務の対立に巻き込まれ……。

秋津の過去、会社の闇、本社の思惑、様々なことが絡み合い、事件は起こる。

最後に巻き起こる大どんでん返しは、私の予想をはるかに超えるものでした。

—読書会に参加して—

私は本を読むことが好きです。このような読書会は、新たな本と出会える良い機会だと思います。次の読書会もぜひ参加したいです。

(1年女子)

普段読まないようなジャンルの本や一度読もうと思っていただけで諦めていた本の魅力を紹介してもらって、読んでみたいと思いました。新書も自分の興味のある本から読んで、いろいろな見方ができるようになりたいと思います。

(2年女子)

自分の好きな本を紹介することができて、とても楽しかったです。もう一度、自分が紹介した本を読み返そうと思います。

(2年男子)

